

教育資料室だより

No.1 令和2(2020).5.1

発行 桐生市立教育資料室

桐生市小曾根町1-9 電話・FAX (43)3171

資料室だより 再スタート

COVID-19の流行で、昨年度末に突然の休校となり、今年度も新学期早々から臨時休校、さらには全都道府県に緊急事態宣言発令と、日本の教育史始まって以来の緊迫した状況が続いています。子供たちの学力や体力への影響も懸念されますが、まずは健康第一です。罹らぬよう、うつさぬよう、十分過ぎるほど気をつけて過ごしていきたいと思います。

ウィルスとの闘いはまだ暫く続きそうです。相当な長期戦になるかもしれません。でも「明けぬ夜はない」とも言います。今が我慢のしどころ、この国家的危機が克服できるまで、もう少し辛抱して参りましょう。

前置きが長くなってしまいました。しばらくお休みしていた「教育資料室だより」ですが、今年度から体裁を改め、装いも新たに再スタートいたします。

昨年の幼稚園教育要領を皮切りに、この春は小学校、今後、中学校、高校と新学習指導要領が順次全面実施となります。明治5年に『学制』が公布された後、教育内容・指導方法・制度・理念等、我が国の教育は、どのように変わってきたのでしょうか。教育資料室には、これらに関する情報がたくさん集められています。

今後、不定期とはなりますが、資料室が関わって先輩諸氏が編集された書物を中心に、主に教職員の皆様に役立ちそうな話題や写真などを少しずつ掲載していく予定です。どうぞよろしくお願いいたします。

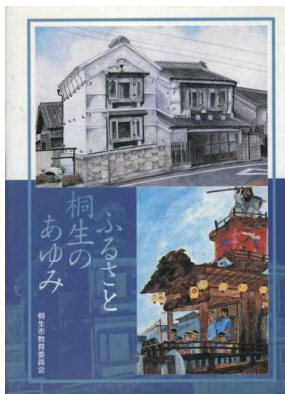
桐生市教育史と教育資料室



『桐生市教育史(桐生市教育委員会刊)』は、上巻(昭和63年発行)・下巻(平成5年)・年表(同8年)の3巻で構成されています。ご覧になったことがあるという方はおられますか。職員室か校長室か、校内のどこかの書棚に並べられていると思います。

桐生市教育資料室は、この『桐生市教育史』が編纂されたときに収集された様々な資料を整理し、貴重な文化遺産として後世まで遺すこと。また市民に公開するとともに教育現場で活用してもらうことを目的として設置された機関です。他にも郷土に関係するたくさんの書物や地図・写真・記念誌など、種々の資料並びに史料を保管しています。

場所は西小学校北校舎の2階です。旧西中に近い方の西門から校舎の下をくぐり、中庭に面した出入り口(渡り廊下にあります)からお入りください。学校閉庁日や祝日等を除き、月曜日から金曜日の午前9時から午後4時まで開室しております。市民の皆様はいつでも、教職員の方々は、長期休業中など、お時間のあるときに、是非一度お越しいただければ幸いです。



『ふるさと桐生のあゆみ』(桐生市教育委員会刊)

この本は、「桐生という地域がどのように発展してきたか、その歩みを見つめ、桐生の良さを見つけ出す手掛かりにしてほしい」という思いをこめ(大里仁一編集委員あとがきから抜粋)、中学生から一般向けに作成された本です。平成10年2月に刊行されました。三段組み257ページというちょっとボリュームのある本ですが、これを読めば桐生の歴史の概要がつかめます。

よみやすい本ですので、ご一読してみてもいいでしょう。この本も校内園内の書棚を探せば、必ずどこかにあるはずです。